

平成27年度「自然首都・只見」学術調査研究助成事業

# 研究成果発表会



**2016年1月31日(日)**

**午後1時～午後5時30分**

**場 所：朝日振興センター 会議室**

**参加費：無料**（興味のある方は是非ご来場ください!）

〈 発表テーマ 〉

- フクジュソウの形の多様性とその要因
- ユネスコエコパークという選択は、どのようになされたのか  
ー綾・屋久島・只見の事例から
- 形態・生態・遺伝から考えるヤブツバキとユキツバキの種分化
- タダミハコネサンショウウオの生息状況と集団遺伝構造  
ーサンショウウオの過去を知り・未来を考える
- 阿賀野川流域におけるユビソヤナギの分布・生育状況
- ブナがダメージを受けると土壌生物のすみかが増える
- 只見町の古民家は何の木で作られているのか？



## 【発表テーマと発表者】

<1 : 15~1 : 45>

① 「フクジュソウの形の多様性とその要因」

近藤菜々美 (横国大・理工)・近藤博史 (横国大・院・環境情報)・酒井暁子 (横国大・環境情報)

<1 : 45~2 : 15>

② 「ユネスコエコパークという選択はどのようになされたのか

－ 綾・屋久島・只見の事例から」

戸田恵美 (放送大・院・文化科学研究科)・湯本貴和 (京都大学・霊長類研究所)

<2 : 15~2 : 45>

③ 「形態・生態・遺伝から考えるヤブツバキとユキツバキの種分化」

三浦弘毅(新潟大・院・自然科学研究科)・崎尾均・阿部晴恵 (新潟大・農学部)

<3 : 00~3 : 30>

④ 「タダミハコネサンショウウオの生息状況と集団遺伝構造

－ サンショウウオの過去を知り、未来を考える」

吉川夏彦 (国立科学博物館・分子生物多様性研究資料センター)

<3 : 30~4 : 00>

⑤ 「阿賀野川流域におけるユビソヤナギの分布・生育状況」

菊地賢・金指あや子 (希少種保全研究会)

<4 : 00~4 : 30>

⑥ 「ブナがダメージを受けると土壌動物の棲みかが増える」

吉田智弘 (東京農工大・農)

<4 : 30~5 : 00>

⑦ 「只見町の古民家は何の木でつくられているのか？」

井田秀行 (信州大・教育)・小寺大地・土本俊和・吉田拓・梅干野成央 (信州大・工)

### 助成研究者との懇親会

日時： 1月31日(日) 午後6時30分~午後8時30分

場所： 旅館 みな川

参加費： 4,000円

〈お申込み方法〉

参加を希望される方は、平成28年1月27日(水)午後5時までに、総合政策課地域振興係まで、電話 (Tel0241-82-5220) で申し込みください。